インフラ復旧の工程表（鉄道）

平成31年3月末現在

●——▶ ：工程が見込めるもの　　●……▶ ：工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H30年度の目標（H30.8.10公表）	H30年度に実施したこと(成果)	R元年度に実施すること（目標）	R元年度				R2年度				R3年度				R4年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
鉄道																			
JR常磐線	JR東日本	不通区間： 浜吉田～相馬※1、 原ノ町～竜田※2 ※1　平成28年12月10日に運転再開 ※2　原ノ町～小高間は平成28年7月12日、小高～浪江間は平成29年4月1日、富岡～竜田間は平成29年10月21日に運転再開	・避難指示区域内（浪江～富岡間）については、引き続き関係者間で緊密に連携し、平成31年度末までの全線開通に向けて取り組む。	・避難指示区域内（浪江～富岡間）について、関係者間で緊密に連携し、令和元年度末までの全線開通に向けて取り組んだ。	・避難指示区域内（浪江～富岡間）については、引き続き関係者間で緊密に連携し、令和元年度末までの全線開通に向けて取り組む。	浪江～富岡 鉄道施設復旧工事等													

様式３

鉄道（ＪＲ）のインフラ復旧状況（平成 30 年度末現在）

工　　種	復旧の状況	内　容	（参考） 事業完了時期
不通区間 小高～浪江	◎	平成 29 年 4 月 1 日に運転再開	
不通区間 浪江～富岡	○	令和元年度末までの開通を目指す	
不通区間 富岡～竜田	◎	平成 29 年 10 月 21 日に運転再開	

【凡例】◎：復旧済・機能回復済　、○：復旧中・建設中　、▲：未着手　、／：該当なし、×：被災なし